

令和 7 年度 学校経営計画書

岡山県立倉敷天城中学校

○学校のミッション（使命、存在意義）

次のような特性を持った生徒を育成することで、社会の発展に寄与する。

- 科学的思考力と創造力を身に付け、21世紀の社会を各分野で主体的に担っていくことができる生徒の育成
- 幅広い知識と国際的な感覚を身に付け、国際社会で活躍できる知的バランスのとれた生徒の育成
- 豊かな人間性をもち、自分を律し他を尊重しながら個性を伸長する意欲ある生徒の育成

○内外の環境分析

- 1 生徒は倉敷市内を中心に県南の広い範囲から通学している。
- 2 生徒はまじめで、素直であり、学業はもとより、さまざまな活動に対して、意欲的・積極的である。
- 3 保護者は中高一貫教育校での教育活動に対して、大きな期待を寄せている。学校の指導に対しては理解があり、協力的である。
- 4 地域住民、倉敷天城高校卒業生は学校に対して期待が大きく、さまざまな支援をいとわない。
- 5 教育環境が大きく変化する中、創設時の理念や思いをどのように伝えていくかが課題となっている。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン（将来像、目指す姿）

- 1 生徒一人一人が志を高く掲げ、授業やさまざまな活動に主体的に取り組んでいる学校
- 2 生徒一人一人がこれからの時代に求められる質の高い学力の基盤を身に付けている学校
- 3 生徒一人一人が的確な自己理解に努め、将来の自立に向け人間的成長を遂げている学校
- 4 教職員一人一人が専門職としての力量を不断に高め、チームとして学校のミッションの実現に努力している学校
- 5 地域・関係者に対して情報発信が適切になされ、愛され、高く評価されている学校

○学校経営目標

- 1 倉敷天城中学校と倉敷天城高等学校が有機的に連携し、充実した教育活動のできる学校運営を行う。
- 2 開かれた学校づくりを推進し、適切な情報発信を行うとともに、地域と連携することで教育活動を充実させる。
- 3 本校生徒に求められる基礎学力とこれからの時代に求められる学力をあわせて身に付けさせ、各生徒にふさわしい進路実現の基礎を培う。
- 4 異年齢の集団、多様性のある集団を活かし、豊かで多様な体験等を通じて、思春期にふさわしい人間的成長を遂げさせる。
- 5 適切な教育環境の整備・管理に努めるとともに、心身ともに健康な生徒の育成のための環境づくり、指導に努める。

○当該年度の具体的な重点目標

- 1 生徒一人一台端末を有効に活用し、主体的・対話的で深い学びに向かう授業を深化させる。
- 2 進路指導、学習指導、学校行事、部活動など、中高の更なる連携等を進める。
- 3 心の居場所推進プロジェクトの実践を通じ、長期欠席、不登校生徒への組織的対応の強化を図る。
- 4 中高一貫教育校として、高校卒業後の進路をイメージさせ、生徒自らが目的を持って学習に取り組むことができるよう、進路指導のさらなる充実を図る。
- 5 業務の見直しや精選、平準化を行うとともに、ICTを有効に活用することで、教職員の働き方改革を一層推進すると同時に、部活動の在り方も引き続き検討し、ゆとりと意欲の更なる創造を図り、教育活動の質を高める。
- 6 特別活動、課外活動、校外の活動などに、主体的に取り組ませることを通して、より良い対人関係能力やたくましさを育成する。
- 7 きめ細かいクラス運営や各種相談を通じて、的確に生徒理解を図るとともに、生徒の自己有用感を涵養する。
- 8 オープンスクールを充実させるなどをして、学校の魅力を地域の方や小学生とその保護者に丁寧に情報発信をしていく。